

山行番 NO. 1614
日時 2014. 10. 25 (土) 快晴
山域 戸倉山 (伊那富士・1681m=信州百名山)
参加者 L 後藤、千葉
コース 下土狩発4:00—甲府—伊那IC—仙丈ヶ岳地蔵尾根偵察—市野瀬・戸倉山登山口発9:07—東尾根第一林道—第二林道—戸倉山頂上11:23~12:31—一般登山口13:22—花猪口発見13:57—市野瀬登山口14:21
標高差 上り 市野瀬登山口約850m~戸倉山1681m=約831m (上り返しややあり)
下り 同上

今回の山行目的は、仙丈ヶ岳 (昔は、「ヶ」が無かったが強いて入れました) 地蔵尾根下部の偵察・松本カモシカスポーツでスキーの調達だった。地蔵尾根は過去、1979. 12/30~1/1、1996. 11に上っている。

1979年は飯豊で亡くなったM氏と二人で、地蔵尾根~北沢峠~甲斐駒~黒戸尾根をテン泊でやった。仙丈はモーレツな吹雪だったが、モノとしなかった。今から35年前。私は32歳で若かく結婚2年目だった。

下部偵察は主に田城原の林道が使えるか否かだった。過去二回はこの林道を使って上った。標高約2000m付近まで車が使えるので有利だった。しかし、何のことはない現在は市野瀬の先、岩入集落付近にゲートがあり、それ以上は入れなかった。

何故ゲートがあるのか?それは明白だった。私が持っている2万5千図は1975年発行。それには岩入集落から更に5Km程入った塩平 (しょべら) に集落があった。ところが現在はその集落は廃村で道路の必要性がなくなり、発電所等の関係者以外入れなくなった。つまり、過疎・人口減の影響が登山にも影響を与える時代になった。

そんな訳で、冬は大分手前の柏木集落から上ることになった。登山口は標高約1200m。田城原に比べ800mほど低い。まあ、それもイイでしょう。私は過去2回上っている尾根の偵察をこれ以上やると本番で新鮮味がなく面白くない。従って、これ以上の偵察は不要となった。時間はまだ早かった。

では、三峰川 (みぶがわ) 対岸に聳える、戸倉山 (伊那富士) に上ろうと相成った訳。標高差もまあまあで十分手応えのある山と見立てた。市野瀬に下り旧秋葉街道に入ると、すぐ登山口があった。空き地に駐車し出発。秋の澄んだ大気に紅葉の山々が眩しかった。何という贅沢。山をやっていて良かった思う瞬間である。

しかし、戸倉山の情報は全くなかった。全く初見の山。あるのは、2万5千図のみ。それはそれで面白そう。私の悪いクセだ。地図では東に延びるスッキリした尾根がある。それを上ればイイと踏んでいた。

諏訪神社と臨濟宗の圓通寺をパスして林道を上る。目指す東尾根から離れて行く。熊堂沢を渡ったところで歩を止めた。この林道を行っても「ロク」なことはない、と49年の登山経験が言って



登山口



熊堂沢



東尾根



伊那市の標柱

いた。若いTも同意見。Tも分かっているのだ。すかさず踵を返し東尾根に突入。東尾根は綺麗な林床が続いている。恐らく昔は登山道があっただろう。が、林道が出来ると皆そこに引っ張られ本来の登山道が廃れる。何処にもある事象だ。勿体ないことだ。東尾根はイイ感じで上っていた。ブッシュなど一切なし。何故こんなに綺麗かは分からない。ただ、物凄く急だった。2万5千円、100mmで831m上っている。しかも人間が殆ど歩いていないので、フット・ホールドが刻まれてなく、靴のエッジを立てないと上れない。極めて難儀だった。

途中、林道が二本あった。特に二本目はノリ面が大きく上れない。大きく南に巻いて上り返す。この上り返しが半端でなかった。ゼイゼイハーハー、死にそうな傾斜が延々と続いていた。それでも漸く1470mのピークを越えて頂上に向かう。しかし、頂上直下はこの尾根最大の傾斜だった。若いTもやや難儀だった。私に至っては正に「死にもの狂い」だった。

それでも何とか頂稜に達し頂上着。頂上には立派な「薬師如来」(ご本尊真言=おん ころころ せんだり まとうぎ そわか)が微笑んでいた。ああ、薬師如来が見守ってくれていたんだと納得。これは地元の有志が上げたそうだ。

頂上は口では表すことが出来ない大展望だった。そもそも、伊那側からの南ALPSは、静岡県人にとって新鮮なアングル。甲斐駒は荒々しい鋸稜線を北西に伸ばしていた。仙丈ヶ岳は、たおやかな山容をこれでもかの雰囲気で主張していた。ただ、何故か北岳はその標高に相応しくない扁平な山容だった。鋸の間に、八ッ赤岳・蓼科がチラリ。

11:30で空腹だった。昼食にする。Tが「ベーコン焼き」作ってくれた。少ししょっぱいが美味しくビアが進んだ。北から沢山上って来る。大曾倉から上ってくるようだ。そっちは標高差が少ない。豆柴犬を連れたオジサンの話では、西に西峰があり、中央ALPSの展望がイイとのこと。豆柴は「ハナ」の名前で、超可愛かった。カメラを向けると意識し??「ポーズ」を取った。

Tが西峰に向かった。私はノンビリ飲んでいて。静かな時間が流れた。北ALPSが遠望出来た。穂高から白馬まで見渡せた。今日は、本当に空気が澄んでいた。秋ならではの天気だ。すっかりイイ気持ちになったころTが戻った。西峰には登山者が多かったとのこと。本来東峰が最高峰だが、西峰で終わる輩が多いようだ。

寒くなったので下山。「ハナ」にサヨナラ。可愛い犬だった。下山は急で細い道だった。何人か上って来た。中に全身、真赤かのオジサンがいた。紅葉が顔負けである。展望台があった。塩見岳方面が遠望出来た。塩見の手前に顕著な双耳峰があった。気になったので下山後調べたら、二兎山(2243m)だった。

簡単に林道登山口着。通常、ここを上って来る。我々は尋常でない。ここから林道歩き。また、悪い予感がするので、熊堂沢の先でショート・カットする。超急下降をすると、今朝戻った付近の林道に降りた。良かった。しかも、途中でヌメヌメの大きな「花猪口」を数個ゲット。これはサイコーに美味しかった。来た林道を辿れば登山口着。近くにイイ温泉があり有難い。今回は、予想外で味わいある山に上れた。今後は低山でも、長野の未登の山を上ってみたい。土日に温泉・カモシカスポーツ買い物をセットのツアーも楽しそうだ。



甲斐駒



仙丈ヶ岳



塩見岳と二兎山

戸倉山頂上



名犬「ハナ」





昼食・ベーコン焼き+ビア



北ALPS遠望



仙丈ヶ岳遠望



真っ赤なオジサン



市野瀬
登山口



花猪口

おわり